

InvestHK

初のクロスボーダー・フィンテック・ウィーク（2018年10月29日～11月2日）

香港フィンテック・ウィークを今年も再び。2018年10月29日～11月2日、世界で初めてクロスボーダーのフィンテックイベントを開催します。

香港と深圳で開かれるカンファレンスには、8,000人を超える企業幹部の来場が見込まれるほか、アジアをはじめ世界の金融サービス業界で技術革新を推し進め、業界の未来を今まさに形作ろうとしている200名を超える世界トップクラスのフィンテック起業家、投資家、規制当局関係者、研究者が集まります。

ハイライト

香港と深圳で開かれる、世界初のクロスボーダー・フィンテックイベント

香港は、世界最大のフィンテック市場である中国本土への参入を目指すフィンテック企業にとって絶好の拠点です。2018年のフィンテック・ウィークは、香港、マカオと広東省の9つの主要都市で構成され、人口6,800万人を抱える湾岸エリア「広東・香港・マカオ大湾区」へのパイプ役としての香港の重要な位置づけとその魅力にスポットライトを当てます。

ファストトラック・プログラム

香港投資推進局（インベスト香港）の協力の下、新しいファストトラック・プログラムでは、世界中のスタートアップ企業が香港で成功裏に事業展開をするための支援を行います。選考を勝ち残ったスタートアップ企業は、政府機関、規制当局、投資家、ベンチャーキャピタル、アクセラレーター、各種協会や機関などのステークホルダーと面会し、フォローアップを受け、一連の事業展開のプロセスをプログラムの中で進めることができます。香港での事業立ち上げといった基本的な準備に加え、「広東・香港・マカオ大湾区」内での事業拡大に向けて、ビジネスチャンスをつかむことができます。

イノベーションラボツアー

香港の主だったイノベーションラボ、イノベーションハブ、アクセラレーター、インキュベーターを訪問します。施設ツアーでは、幹部スタッフから話を聞く時間が設けられ、香港フィンテック・エコシステムを構築する上でのそれぞれの役割や、注力する点につき学ぶことができます。

ビジネスマッチング／相談会

ミーティング、ビジネスマッチングのほか、主だったパートナー先、規制当局、政府機関との相談会を設けています。予約なしで立ち寄ることができます。

急速に進展するフィンテック・エコシステム

2016年11月の第1回香港フィンテック・ウィーク以降、香港のフィンテック・エコシステムを推進し、フィンテック・イノベーションに向けた国際連携を促すための数々の新しい取り組みが行われています。

- 2017年11月、香港金融管理局(HKMA)とシンガポール金融管理局(MAS)は、分散型台帳技術(DLT)を使用したクロスボーダーのインフラ、「グローバル・トレード・コネクティビティー・ネットワーク(GTCN)」の共同構築を発表。二都市間の貿易と貿易金融をデジタル化し、将来的にはアジア地域内、そして世界へのネットワーク拡大を目指します。
- 香港証券取引所は、2018年4月30日から新しい上場規則を導入。加重投票権(WVR)構造を採用する企業の上場が認められるようになりました。香港により多くのテクノロジー企業、新興企業を呼び込むことが狙いです。
- 2018年5月、香港金融管理局は実店舗を持たず事業を展開する仮想銀行の認可について、ガイドラインの改定を発表。参入希望事業者は2018年8月31日までに香港金融管理局への申請書提出が必要です。

フィンテック専門チーム

インベスト香港では、香港にフィンテック専門チームを立ち上げ、ロンドンとサンフランシスコにも担当者を配置しています。先進的なフィンテック企業、スタートアップ企業家、投資家、その他ステークホルダーを世界中から香港へと呼び込み、香港での足場作りを支援します。事業評価、事業立上げ準備(事務所探し、ビザ申請、銀行口座の開設)、規制当局への紹介、人脈作り、広告宣伝活動の支援など、実務に即したサポートを行います。

フィンテック・ウィークのキーテーマ

- 人工知能(AI)
- ブロックチェーン、分散型台帳技術(DLT)
- 中国でのフィンテック
- 「広東・香港・マカオ大湾区」における連携
- 仮想銀行サービス

イベントカレンダー

Finovate Asia (2018年10月29日(月)~30日(火))

Hong Kong Convention & Exhibition Centre

世界のフィンテック関係者が集結するアジアで唯一の機会。最先端の銀行業務、決済・支払い技術を独自の簡易なデモ形式で披露します。

Main Conference (2018年10月31日(水)~11月1日(木))

Hong Kong Convention & Exhibition Centre

2日間にわたって行われるカンファレンスと展示会。4つのセッションと100以上の展示ブースを設け、世界中から200名を超える講演者が集まります。香港、中国本土、アジア太平洋地域へのビジネス拡大を狙う企業に絶好の場です。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

Shenzhen Day (2018年11月2日(金))*Shenzhen- (深圳各所)*

企業訪問、プレゼンテーション、ビジネスネットワーキングを通じて、中国本土で最先端に行くテクノロジー企業から学ぶことができます。また、香港側の担当者とともに、中国の銀行、ベンチャーキャピタル、規制当局と人脈作りができます。

香港フィンテック・ウィークの最新情報をご希望の方は、ウェブサイト(www.fintechweek.hk)からご登録ください。

 @HongKongFinTech
#HKFintechWeek



Watch the video:



香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

国際イベント・スケジュール

7月9～12日 香港

RISE 2018

世界の最大手企業や成長著しいスタートアップ企業が香港に集結し、経験談を話し合います。ネットワーキングにも役立つこの3日間にわたるイベントには世界の大手メディアや投資家も来場します。

場所: *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催: *Web Summit*

▪ riseconf.com

7月11日 東京

一帯一路&粵港澳大湾区セミナー

同セミナーでは「一帯一路」構想および「粵港澳(広東・香港・マカオ)大湾区」構想における概要および日本企業のビジネスチャンスについてご説明致します。

場所: *東京如水会館*

主催: *インベスト香港、香港経済貿易代表部東京事務所*

▪ investhk.gov.hk/ja/events/belt-and-road-and-greater-bay-area-initiatives-hong-kong-s-important-role-and-business.html

7月12日 ソウル

Smart Innovative Hong Kong and the Guangdong-Hong Kong-Macao Bay Area

香港のビジネス上の優位性と、韓国企業による香港を足掛かりとした広東・香港・マカオ大湾区への参入方法についてご紹介します。

場所: *Lotte Hotel Seoul*

主催: *インベスト香港、Korea Trade-Investment Promotion Agency*

7月16～18日 香港

Forbes Under 30 Summit Asia

アジア全域から、「Forbes Under 30 Summit Asia」に選出されたおよそ300名の若きリーダー、起業家、変革者たちが集結。CEO、メンター、業界リーダー、投資家、ディスラプターも集まります。3日間のイベントでは、刺激的なパネルディスカッション、技術デモンストレーション、ネットワーキングイベント、フード&ミュージックフェスティバルなどが行われます。

場所: *InterContinental Hong Kong*

主催: *Forbes*

▪ forbesunder30summitasia.com

7月21日 香港

22nd Innovative Entrepreneur Award Ceremony

香港の独創的起業家たちの成果を称え、起業家精神を盛り立てるフラッグシップイベントです。

場所: *香港*

主催: *Junior Chamber International City (Hong Kong)*

▪ cjc.org.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

10月9日 香港

日系企業交流レセプション

日系企業による香港への貢献に謝意を表すために開催される交流レセプションです。

場所: 香港

主催: インベスト香港 (招待制)

10月29日～11月2日 香港、深圳

Hong Kong Fintech Week 2018

世界で初めてクロスボーダー形式で開かれるフィンテックイベント。5,000 人を超える企業幹部のほか、アジアをはじめ世界の金融サービス業界で技術革命を推し進め、この業界の未来を今まさに形作る、100 名を超える世界トップクラスのフィンテック企業の創設者、投資家、規制当局関係者、研究者が集まる、最大級のカンファレンスです。

場所: 香港、深セン

主催: インベスト香港

■ hongkong-fintech.hk/en/events/hkftw18.html

■ **インベスト香港主催行事**

詳細については、www1.investhk.gov.hk/events をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集:年次調査

香港で事業活動を行う外資系・中国本土系企業に対する年次調査

政府統計局と香港投資推進局(インベスト香港)では、香港域外に親会社を持つ企業を対象に2018年年次調査を実施しています。この調査は、香港でのビジネス展開に有利な環境を構築し、現在または将来の香港域外からの進出企業向け支援サービスを強化するための政策作りに役立てることを目的としています。

集められた情報に基づき、香港で事業展開をする外資系企業のニーズをよりの確に理解し、それらを香港内外双方でのプロモーション活動に反映させることにより、香港が一番の海外直接投資先に選ばれるよう努めています。

本調査は、香港域外に親会社を持つさまざまな事業分野の企業を対象とし、該当企業には、通知書とともにアンケート用紙がすでに送られています。各企業の情報提供を支援するため、政府統計局は電子版アンケート用紙も用意しており、ご依頼いただければご提供します。

調査でご回答いただく情報は、各企業の一般情報や、香港での事業運営に関する経営陣のご意見などです。

個々の企業が特定される可能性のある収集情報はすべて極秘扱いとし、未許可の個人または組織には開示しません。また収集されたデータは統計目的でのみ使用し、個々の企業に関する情報が明らかになることはありません。

皆様の見解とご意見が調査の要です。調査結果は、現在または将来の香港域外からの進出企業により良い支援サービスを提供するために活用いたします。

さらに詳しい情報については、以下のウェブサイトをご覧ください。

censtatd.gov.hk/press_release/pressReleaseDetail.jsp?charsetID=1&pressRID=4187

お問い合わせ先:

Kingston Sun

マーケットインテリジェンス部 部長

Tel: (852) 3107 1043

Email: KSun@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

マーケットフォーカス：日本

ますます強まる香港と日本の経済的結びつき

2018年1月の日本から香港への輸出額は24億米ドル、前年比17.8%増となりました。香港は、日本食材の最大の輸出先でもあります。2018年1月の日本から香港への食料品(含生鮮食品)の輸出額は9,700万米ドルで、このカテゴリーでの日本の輸出額全体の24%以上を占めます。

また、香港にとって日本は第5位の輸入相手国です。主な輸入品目は、半導体、電子弁・電子管(21.4%)、電気通信機器・部品(8.0%)、電気機械器具(6.5%)、配電回路用電気装置(6.4%)、石油(原油を除く)(3.8%)などです。

730万人が暮らし、年間5,600万人の渡航者が訪れ、戦略的に優れた立地の香港は、日本企業にとって中国本土やアジア全域の巨大な消費者市場への足掛かりになります。

香港経済における日本

統計局と香港投資推進局(インベスト香港)の共同調査によると、2017年6月時点で香港には計1,378社の日系企業が進出し、国・地域別外資系企業で最多となりました。この中には、香港や中国本土を含むその他アジア諸国での事業活動を統括する地域統括本部、地域本部、現地事務所も含まれています。

香港で事業展開する日系企業は、飲食料および食品・飲料品貿易、金融業、クリエイティブ産業など幅広い業種にまたがります。日本の飲食店チェーン、株式会社エー・ピーカンパニーは、昨年、香港第1号店を出店し、日本国内とアジア内200店舗のうち、最も高い売上と客単価を達成しています。

Think Global, Think Hong Kong(国際化へのパートナー：香港)

香港貿易発展局(HKTDC)が主催する年に1度の主要イベント、「Think Global, Think Hong Kong(国際化へのパートナー：香港)」が11月1日に東京で開催されます。同イベントではインベスト香港、香港サイエンスパーク、サイバーポート、香港金融管理局(HKMA)、そしてビジネス界から香港の関係者が一同に会し、ダイナミックなグローバルマーケットでの進展やトレンドについてディスカッションを行います。メインシンポジウム、夕食会、さまざまな業種・分野別セッション、ビジネスマッチングミーティングなども予定されています。インベスト香港は、「中国、ASEAN諸国へのビジネス拡大」と題したセッションを主催します。奮ってご参加ください。詳しくは、下記ウェブサイトをご覧ください。

hktdc.com/ncs/tgthk2018/en/main/index.html

その他詳細に関しましては、以下お問い合わせ先までご連絡ください。

香港経済貿易代表部(東京)
投資推進室室長 佐々木由紀雄
Tel: +81 3 3356 8961
Email: y_sasaki@hketotyo.gov.hk

インベスト香港コンサルタント(大阪)
投資コンサルタント(大阪) 中田武正
Tel: +81 6 4705 7019
Email: tnakata@investhk.com.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集:新しい上場制度

香港証券取引所、イノベティブ企業の誘致を強化する為の新上場制度を導入

香港交易及結算所有限公司(Hong Kong Exchanges and Clearing Limited)の完全子会社、香港証券取引所(The Stock Exchange of Hong Kong Limited)は、2018年4月30日付けで香港における上場基準を緩和する改定案を公表しました。

この改定の一環として、香港証券取引所は、メインボード上場規則に3つの章を新たに追加し、これに伴い、現行規則を次の通り改定しました。(a)メインボード財務要件基準のいずれにも合致しないバイオテクノロジー系発行会社の上場を認める、(b)加重投票権(WVR)構造企業の上場を認める、(c)香港でのセカンダリー上場を望む大中華圏および国外企業に対して、新たな譲歩的セカンダリー上場経路を設ける。

新経済、特に中国本土のハイテク企業の変動的な成長を踏まえ、世界の証券市場では、こうした収益性の高い企業を自国市場に呼び込むために新しいポリシーを導入しています。新しい上場制度に伴い、香港を上場先として選んだ企業は、この都市独自の数多くの競争優位性を活用することができます。香港市場は流動性が高く、確かな法制度を備えており、また透明性が高く、責任が明確な規則・規制構造が整備されています。香港は、国際基準の十分な理解に基づき機能しています。

バイオテクノロジー業界の可能性

現在、健康長寿を目的とし、私たちの将来の生活を大きく変える新薬、新規療法、それに関連するサービスの開発に膨大なリソースや資金が注ぎ込まれています。バイオテクノロジー企業には、研究、開発、臨床試験に莫大な資本が必要です。新しい上場制度を導入した香港は、流動性の高い国際金融センターであり、こうした業界を前進させるための後押しとなり、必要な資金を提供することが可能です。

同時に、香港証券取引所は、収益を未だ上げていない企業や加重投票権構造企業に伴う潜在的リスクを認識し、適切な投資家向けセーフガードを提案しています。例えば、申請者の適格性を判断する際の詳細な基準の設定、上場時価総額基準の高めの設定、情報開示要件の強化などです。収益を未だ上げていないバイオテクノロジー系発行会社については、中核事業の変更には香港証券取引所の承認が必要となり、また、将来、実態のないペーパーカンパニーになってしまった場合に備え、合理化した上場廃止プロセスを導入します。加重投票権構造企業については、コーポレートガバナンス要件の強化に加え、加重投票権の権限を制限し、非加重投票権保有者の投票権を守るための規則などのセーフガードを設けています。

香港でのハイテク関連事業機会については、以下お問い合わせ先までご連絡ください。

Simon Tsang
科学技術産業部 部長
Tel: (852) 3107 1013
Email: Stsang@investhk.gov.hk

Wendy Chow
情報通信技術産業部 部長
Tel: (852) 3107 1012
Email: Wchow@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

“当社の香港チームは中華及び西洋、両方の文化や商習慣を熟知しているため、それぞれの市場に適した戦略を立てることができます。”

エニーマインドグループ
共同創業者兼 COO 小堤 音彦氏

人工知能(AI)テクノロジー企業が香港、その他地域でビジネス拡大のチャンス を掴む

エニーマインドグループ(AnyMind Group)は、企業のよりよい意思決定と経営効率向上の支援および、企業や専門家らの競争力増強をねらいとして、人工知能(AI)を活用した SaaS ソリューションを提供しています。同社は創業者2名によるシンガポールのスタートアップ企業からわずか2年間で、アジア太平洋地域の 10 市場に 11 の拠点と 1 カ所のテクノロジーセンターを持つ大組織に成長しました。

エニーマインドグループでは、香港に3つの事業部門を置いています。「AdAsia Holdings」、
「CastingAsia」、そして「TalentMind」です。先の2部門は広告会社・企業のマーケティング部門やオンラインメディアを対象に、インフルエンサー・マーケティングやプログラマティックかつデジタルの広告ソリューションを提供しています。AI テクノロジーを活用したソリューションを利用することで、企業は広告効果やサイト収益化、インフルエンサー・マーケティングの業務を最適化し、効果を追跡、また分析することができるようになります。こうしたマーケティング分野でのソリューションに加え、「TalentMind」は採用担当者や人事管理者を対象としており、AI ソリューションを用いて親和性の高い候補者を選出したり、採用手続きなどにかかる業務効率を改善したりすることができます。エニーマインドグループは、飲食店、金融、家電、一般消費財など、香港の多様な顧客を対象にサービスを提供しています。

「香港は、国際ビジネスにとってアジアで最も人気のある都市の 1 つであり、世界でもトップクラスの魅力的な IPO 市場であり、アジアでの上場や資金集めを実現させるための環境が整っています」と共同創業者兼CEOの十河宏輔氏は、同社が香港オフィスを開設した理由をこう説明します。

「当社の香港オフィスは、台北、上海、東京にあるエニーマインドグループの業務を補完する機能を持ち合わせています。顧客の多くは香港に地域統括拠点を置いているので、現地にチームを作ることでよりよいサポート体制を提供できています。昨年5月の開設以来、香港オフィスは非常によい成績を上げており、収益も目標額に達しています」と同氏は述べています。

中国本土へのゲートウェイ

中国は海外の投資家に対し非常に大きなビジネスチャンスを提供しています。一方でエニーマインドグループは中国の独自性や複雑さもよく把握しており、同社の香港チームがこの巨大な市場におけるビジネスの流れや仕組みを全社的に理解できるよう働きをしてくれるでしょう。「たとえば、中国のソー

ソーシャルメディア市場は、欧米とは全く違います。当社の香港チームは中華と西洋の両方の文化や商習慣を熟知しているため、それぞれの市場に適した戦略を立てることができます。さらに当社の香港チームは、他のアジア市場への拡大を考えている中国企業に、アジア地域の見識を提供できるよう、上海チームと緊密に連携しています」と共同創業者兼 COO 小堤音彦氏は述べています。

現地でのセールス・マーケティング活動のほかに、香港オフィスは東アジアの財務、コミュニケーション、人事などの機能を担当する部門も統括しています。同社では香港チームをさらに増員するほか、フィリピン、UAE(アラブ首長国連邦)、インド、ロシアの4か国にも新しくオフィスを開設する計画です。

インベスト香港では、エニーマインドグループが最新の市場の状況や政府の取り組みを把握し、香港でネットワークを広げることができるよう支援を続けています。

エニーマインドグループ

- シンガポールに本社を置き、11 の拠点とアジア太平洋地域にテクノロジーセンターが一カ所ある
- 「AdAsia Holdings」「CastingAsia」「TalentMind」は、香港で AI を活用したマッチングエンジンとワンストップの SaaS ソリューション を提供している3つのビジネス部門である

anymindgroup.com



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

インベスト香港顧客紹介

■日本

日本で設立されたポケットチェンジは、使い残しの外貨紙幣・硬貨を電子マネーまたは各種ギフト券に交換できる、旅行者に便利な一体型ソリューションを提供しています。世界から年間6,400万人を超える観光客が訪れる香港が、シンガポールを抑え、ポケットチェンジ初の海外拠点として選ばれました。今後は、主に香港国際空港と MTR エアポートエクスプレス駅に端末を設置し事業を拡大する計画です。

ポケットチェンジは、3D プリンティング技術、CNC 技術、レーザーカット技術を用いて日本で開発された最高精度の技術で各種通貨を識別し、一度で最高 15 種類の主要通貨を処理できます。同社は、使い残しのコインの最大活用と経済システムへの還流により、市場の流動性を高めることを事業目的としています。

産業部門:外貨と電子マネー・各種ギフト券との交換
pocket-change.jp

